



3年生の兩種目において達成率向上！

学年	調査項目	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	
		達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
1年	ふしうき	87.6	88	89.4	87.7	90.3	88.3	87.9	85.7	80.1	▼
2年	けのびからのバタ足5m						79.8	80.1	80.4	74.5	▼
3年	面クロール 10m	63.9	62.9	62.9	64.2	62.9	61.6	58.8	57.9	61.1	△
	かえる足	35.9	40	39.1	41.7	43.1	41.1	41.3	41.4	44	△
4年	クロール25m	61.3	66.1	64.6	60.9	59.5	59.8	61.8	55.2	51.4	
	平泳ぎ25m	37.6	42.1	45.6	42.6	38.8	39.4	41	38.6	35.1	
5年	クロール25m	86.6	86.6	84.9	86.2	81.1	84.1	81.3	78.6	72.4	▼
	平泳ぎ25m	60.8	65.7	62.3	63.4	58.9	62	63	59.1	52.8	▼
6年	クロール50m	94.8	93.6	93	89.9	87.7	87.4	87.3	83.6	80.5	
	平泳ぎ50m	80.1	76.6	76.5	75.6	73.5	75.2	74.1	72.2	68.6	
	背泳ぎ25m	77.4	78.5	77	78	73	77	74	70.3	70	
	30分間回泳	87.3	88.5	87.4	83	77.7	80.5	78.8	75.1	71.3	

△・・・前年度と比べ、達成率が向上した項目

▼・・・前年度と比べ、達成率が5%以上低下した項目

<考察>


○3年生の兩種目の達成率が向上。

●1年生のふしうき、2年生のバタ足、5年生の兩種目は、昨年度と比べて5%以上低下。

●6年生の30分間回泳の記録が3年連続で低下している。

令和2年度から完全実施される学習指導要領において、5・6年生の水泳運動の指導内容に「安全確保につながる運動」が新設されました。5年生になるまでに、『もぐる・浮くなどの経験を通して、十分に呼吸の仕方を身につけておくことが大切である』としています。また、技能の面からは、「背浮き」をしながら安定した呼吸を伴い、**続けて長く浮く**ことが重要視されています。30分間回泳の達成率を向上させることは、命を守ることに繋がります。泳ぎ方だけでなく、浮くことの指導にも力を注ぎたいですね。指導法を以下に提案します。学習指導要領解説編に示されているものもありますので、そちらも併せてご覧下さい。

<背浮きの指導法>

一斉指導		ペア学習
小プールなどの浅い場所で、 かかとを付けたまま 背浮きをします。手をつくことができるという安心感を与えることができます。	ブイを腰に着けたりビート板を胸に抱えたりして、体が浮く感覚を味わわせます。この時、 力を抜いてリラックス することも併せて伝えます。	ペアの子に 頭や腰 を支えてもらいます。  首でもよい

※背浮きは、あごを上げ、額を水中に入れることがよい姿勢をつくるコツです！

教えます！！うちのマル秘 水泳指導法

泳力調査への御協力、ありがとうございました。今回、調査項目に合わせて、「有効だった手立て・教具」についても報告をお願いしました。その結果、各校から工夫された指導法を集めることができましたので紹介します。一年先のことになってしまいますが、来年度から課外もなくなるため、泳力向上のためにお役立てください。



↑逆さまワニ歩き



↑半ビート板

水慣れ・基礎

- フラフープをけのびでぐる（豊浜小・浅羽東小）
頭が出ていたり、体が曲がっていたりすると輪にあたるため、姿勢に気を付けるようになる。
- ボールを浮かせてヘディングリレー（浅羽東小）
ボールを見るために水中で目を開けるようになる。
- 小プールで逆さまワニ歩き（飯田小）
楽しみながら背浮きの感覚が身につく。
- 水中タクシー（豊岡北小・富士見小）
けのび姿勢で、手やビート板をペアの子が持って、引っ張ってあげる。前に進む感覚を持たせる。

クロール

- ビート板を半分に切った半ビート板の活用（飯田小）
片手クロールに使ったり、足に挟んだりして使用。
- ビート板キックレース（浅羽南小）
ビート板を持って、バタ足だけで進む。レースにして楽しんで取り組む。

腰にヘルパー →



平泳ぎ

- 腰にヘルパーの装着（田原小）
浮力を得るためにあおり足になる子が多いため、ヘルパーで浮力を付けることで、足の動きに集中して取り組める。
- 壁キック練習（豊浜小）
かえる足の姿勢で壁をキックし、足裏で水を押す感覚を持たせる。
- ペアによるかえる足指導（豊岡北小）
泳ぎが得意な子と苦手な子をペアにし、ビート板を持たせて後ろから足を持ってかえる足の動きの練習をする。

場の設定・授業形態

- プールの底に目印（笠原小）
目標を設定して泳ごうとするようになる。
- 泳力別・課題別コースの設定（袋井北小・竜洋西小）
合同授業が可能な場合に、課題別に分けることで、レベルに合わせた指導ができる。

☆他校の取り組みで気になるものがあれば、ぜひ、体育主任同士連絡を取り合い、情報交換をしてみてください。